

令和4年度社会福祉法人長洲町社会福祉協議会事業報告

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I 総務課

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせるための支援とし、地域福祉活動では地域住民が相互に支え合える地域づくりのため、ふれあい地区社協活動を中心とした見守り活動や公民館活動への支援を、新型コロナウイルス感染症対策を充分に行ったうえで実施しました。

また、様々な問題が複合して起こる生活上の課題に対応するため、関係機関と連携を図り引きこもりや社会的孤立の問題、権利擁護、生活困窮世帯、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活に不安を抱えている方に対して、寄り添いながら支援を行いました。

1 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会

回数	日時	審議事項
第1回	5月27日(金) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none">令和3年度事業報告及び決算の承認について理事及び評議員候補者の選任について令和4年度定時評議員会の招集について令和3年度日赤募金会計決算について令和3年度資金収支予算の流用について
第2回	3月17日(金) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none">令和4年度資金収支予算書の第1次補正予算について令和5年度事業計画について令和5年度資金収支予算書について令和4年度第2回評議員会の招集について令和5年度日赤募金会計予算について令和4年度資金収支予算の流用について日給、時給職員給与等に関する規定の一部改正について

(2) 評議員会

回数	日時	審議事項
第1回 定時	6月10日(金) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none">令和3年度事業報告及び収支決算の承認について選出母体の役員交替に伴う役員の選任について
第2回	3月28日(火) 午前10時～	<ul style="list-style-type: none">令和4年度資金収支予算書の第1次補正予算について令和5年度事業計画について令和5年度資金収支予算について

(3) 監査

回数	日時	内容
第1回	5月16日(月) 午後1時30分～	<ul style="list-style-type: none">令和3年度決算に係る監査

II 地域支援の重点事業の成果及び実績

1 地域住民の参加と協力による地域福祉活動の推進

ふれあい地区社協の活動に対し支援を行いながら、住民主体による地域課題が解決できるよう地域福祉活動の推進に努めました。

また、見守り活動を実施している関係団体による地域の現状及び見守り活動の状況等を情報共有し、より地域の現状を把握するための見守り会議を開催しました。

(1) ふれあい地区社会福祉協議会

ア 役員会・代表者会議

区分	日時	場所
第1回役員会	7月20日(水) 午前10時～11時	ふれあいセンター
第2回役員会	8月16日(火) 午前10時～11時	
第3回役員会	9月16日(金) 午前10時～11時	
第4回役員会	11月7日(月) 午前10時～11時	
第5回役員会	12月13日(火) 午前10時～11時	
第6回役員会	3月8日(水) 午後1時30分～2時30分	
第1回代表者会 (腹栄中校区)	4月13日(水) 午前10時～11時	ふれあいセンター
第1回代表者会 (長洲中校区)	4月13日(水) 午後1時30分～2時30分	
第2回代表者会	10月19日(水) 午前10時～11時	

イ ふれあい地区社協校区别研修会(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

ウ ふれあい地区社協合同研修会

・日 時 11月19日(土) 13時30分～15時30分

・場 所 ながす未来館

・参加人数 266人

・内 容 (1)オープニングアトラクション

長洲、腹栄中学校吹奏楽部による記念演奏

曲名：「残酷な天使のテーゼ」、「ウィーアー！」

(2)20周年記念フォーラム

テーマ：「ふれあい地区社協の20年の歩みとこれから」

ゲスト：英太郎氏(タレント)、姫野建二氏(九州看護福祉大学元教員)

代表者：草野由美氏(西新町区)、尾上恵子氏(新山区)、濱田節子氏(立野区)

(3)休憩

(4)活動紹介

曲名：「時代劇体操 瀬川瑛子バージョン」

代表：みんなの蔵

(5)抽選会

(2) ボランティアセンター事業の推進

ア ボランティア活動育成事業

(ア) ボランティア協力校指定事業 町内小学校4校 中学校2校

(イ) ボランティア団体活動支援金の助成 2団体

(ウ) クリーンウォークの実施(共催：町手をつなぐ育成会、町役場)

・日 時 11月3日(木) 9時～10時30分

- ・実施場所 中道児童公園周辺、ひまわりの里周辺
町浄化センター周辺、長洲港海岸
- ・参加人数 199人（中道児童公園：118人、ひまわりの里：38人
町浄化センター：32人、長洲港海岸：11人）

(エ) メイクアップボランティア活動
(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

イ 総合学習

ボランティア協力校からの依頼に対し、福祉を身近に感じる体験学習を行い、社協職員の指導で車いす・高齢者疑似体験を行い、福祉教育の推進を図りました。また、体験学習の内容を深めることを目的に、本会の概要について紹介しました。

(単位：人)

期日	内容	学校名	参加者数
7月11日(月)	町社協の紹介	六栄小学校	44
7月13日(水)	車いす・疑似体験	六栄小学校	44
11月28日(月)	町社協の紹介	腹赤小学校	34
12月2日(金)	車いす・疑似体験	腹赤小学校	34
12月5日(月)	町社協の紹介	清里小学校	24
12月9日(金)	車いす・疑似体験	清里小学校	24

(3) 児童・青少年福祉活動

ア 新小学一年生への援助

入学児童120人分の入学祝として(宿題入れケース)を贈呈しました。

イ 子どもデイサービス事業(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

(4) 各団体への支援活動

期日	内容	支援団体	場所
10月1日(土)	秋祭り景品寄贈	ひまわりの里	ひまわりの里 (施設)
11月16日(水)	玉名郡球技大会協力支援	身体障害者福祉協議会	南関町農村広場
11月23日(水)	あったかマルシェ景品寄贈	スローすてっぷ	スローすてっぷ (施設)

2 福祉サービス相談窓口としての機能の充実

(1) 心配ごと相談所

毎月第3火曜日に弁護士による相談所を開設しました。(単位：件)

相談内容	職業生業	家族	離婚	財産	老人福祉	苦情	その他	合計
件数	1	2	3	16	1	1	10	34

※ 令和3年度相談件数37件

(2) 生活福祉資金貸付・小口貸付

(平成12年度 熊本県社会福祉協議会より申請受付事務を受託)

低所得・障がい者・高齢者世帯の方などに、県社協の資金貸付事業の「生活福祉

資金貸付事業」や本会の小口資金貸付事業「福祉金庫」で経済的に支えるとともに、生活の安定や自立支援に向け対応しました。

ア 生活福祉資金貸付事業

(単位：件)

種別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	対象外・ 相談のみ
福祉資金貸付	16	0	0	16
教育支援資金貸付	12	0	0	12
総合支援資金貸付	0	0	0	0
緊急小口資金貸付	1	0	0	1
不動産担保資金	0	0	0	0
緊急小口資金特例貸付	16	13		3
総合支援資金特例貸付	5	5		0
総合支援資金特例貸付（延長）	1	0		1
償還免除申請	6	6		0
償還手続き	5	5		0
償還猶予・減免	3	1		2
計	65	30		35

※ 令和3年度相談件数195件(内：申請件数102件・対象外相談のみ93件)

イ 福祉金庫貸付事業

(単位：件)

種別	相談 件数	申請 件数	決定 件数	不承認 件数	取下げ 件数	対象外・ 他制度等
令和4年度	0	0	0	0	0	0
令和3年度	1	1	1	0	0	3

3 地域福祉権利擁護事業

利用者との契約に基づき、認知症や知的障がい、精神障がい等により日常生活を営むのに支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言を行いました。また、福祉サービスの提供を受けるために必要な手続きや費用の支払いを支援し、安心して在宅生活を継続できるよう一連の援助を行いました。

(単位：人)

実利用者 数	年度当初 利用者数	新規契約	契約解除	支援員数	対応回数（回） （支援員・職員 対応）
16	13	3	2	4	699

※ 実利用者数内訳 認知症10人 知的障害者2人 精神3人 その他1人

※ 令和3年度実利用者数13人、対応回数976回

4 安心よりそい生活支援事業

地域福祉権利擁護事業の補完的サービス、または対象外の方も利用できるサービスとして「安心よりそい生活支援」として実施しました。

(単位：人)

年度	実利用者数	年度当初利用者数	新規契約者	契約解除者	対応回数(回) (職員対応)
令和4年度	3	7	0	4	272
令和3年度	7	6	5	4	709

5 赤十字講習会

(1) 地域の講習会開催

熊本地震の経験、繰り返される風水害など防災・減災への意識の高まりから、いざという時に役立つ知識や技術を身につけることを目的に開催しました。

(単位：人)

期日	行政区	内容	参加者数	場所
6月21日(火)	折地	皮膚トラブル、認知症高齢者への対応	27	折地公民館
7月3日(日)	婦人会	心肺蘇生法と避難所において地域婦人会の対応や役割	40	中央公民館
7月17日(日)	古城	子どもの心肺蘇生法と事故予防・応急手当	10	古城公民館
11月6日(日)	鷺巣	心肺蘇生法とAEDの使い方	20	鷺巣公民館
11月13日(日)	上沖洲	心肺蘇生法とAEDの使い方	100	上沖洲公民館

6 受託事業

(1) 安心生活基盤構築事業

日常生活を送る上での困りごとの解消を図るため、地域住民相互の支え合い活動の一つとして有償ボランティア「ささえあい」事業を展開しました。

ア 有償ボランティア利用実績報告

(単位：件)

利用内容	令和4年度	令和3年度	利用内容	令和4年度	令和3年度
掃除・片付け	66	17	買物	41	45
洗濯	0	29	薬の受取	10	14
ゴミ出し	813	812	合計	930	917

※ 協力会員活動実人数 31人 利用会員利用実人数 32人

イ 令和4年度協力会員及び利用会員数について (単位：人)

	協力会員数	利用会員数
新規登録者数	5	13

令和4年度辞退者	2	2
累計	121	72

(2) 生活困窮者総合相談支援事業

生活保護に至る前から生活困窮者の相談に対応し、生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、民間支援事業を活用しながら行政や他機関と連携し、自立に向けた相談支援、就労支援を行いました。

(単位：人)

支援内容	令和3年度から継続	新規相談件数	継続支援中(就労支援等)	終結・終了
令和4年度	15	42	15	7
令和3年度	22	28	24	26

(3) 緊急対応生活支援事業

生活費がなく食材がない、ライフライン(電気・ガス・水道)の料金等未払いによる供給停止により、生活を維持できない状態にある世帯へ食材の現物支給を行いました。

(単位：人)

支援内容 支援件数	支援人数	食材費	備蓄食材 配布	水道光熱費	宿泊費
令和4年度	18	1	28	0	0
令和3年度	17	27	2	0	0

7 子育て支援・児童健全育成事業の推進

(1) 子育て支援センター事業

子育て支援の拠点として、子育てに関する関係機関との調整を図り、相談や指導を行い、孤立しがちな子育て期の親子が安心して過ごせる場所の提供や、同世代の子を持つ親同士の情報交換や相談、交流ができるように「にこにこサロン」及び「1歳の誕生会」その他を開催しました。

また、子育て支援センターの行事や内容を周知する為、「にこにこ通信」の発行や、「愛情ねっと」「母子モ」「インスタグラム」の配信を行い、多くの町内の方に「子育て支援センター」を知っていただけるように、行事内容を充実させ実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の予防対策としては、手指の消毒・検温の確認、制作や食事の際は1組で1台のテーブルを使用してもらいました。また、遊具・玩具・床・ドアノブ等を使用後は次亜塩素酸での拭き取り消毒も行いました。

(単位：人)

開館日数	利用者延人数		一日平均利用者	
302日/年間	大人	1,405	大人	5.9
	幼児	1,787	幼児	4.6

台風接近のために休館した日 → 7月5日(火)、9月6日(火)、9月19日(月)

ア 各種行事 (開催場所：子育て支援センター)

期日	行事内容及び参加者数	
毎月第1木曜日 (変更有)	◆にこにこサロン (募集定員：5～10組) 4月：おはなし会 6月：食育 8月：手形足形アー 10月：子育て講演会「親子ヨガ」 11月：アロマハンドマッサージ 12月：クリスマス会 2月：豆まき	
	5月：リトミック 7月：七夕 9月：ミニ運動会 1月：幼児安全法 3月：ひなまつり	
	令和4年度延べ参加者数：大人75人、幼児90人 令和3年度延べ参加者数：大人70人、幼児76人	
4月20日(水) 10月19日(水)	◆はいはい・よちよち大会 (年2回) 大人 15人 幼児 15人 大人 16人 幼児 13人	
	令和4年度：大人 31人 幼児 28人 令和3年度：大人 28人 幼児 29人	
中止	◆人形劇鑑賞会 (年1回) ※世代間交流事業 (児童館と合同) ※令和3年度中止	
12月 8日(木)	◆コンサート (年1回) ※世代間交流事業 (児童館と合同) ※世代間交流事業であるが、新型コロナウイルス感染症の現状を考え子育て支援センター (にこにこサロン) のみで募集する。	
5月 9日(月) 8月 8日(月) 11月 7日(月) 2月 6日(月)	◆ベビーマッサージ (年4回) 大人 2人、 幼児 2人 大人 3人、 幼児 3人 大人 4人、 幼児 4人 大人 3人、 幼児 3人	
	令和4年度 参加者合計 24人 令和3年度 参加者合計 47人	
	講師： 藤本 喜美 氏	
4月22日(金) 7月 8日(金) 10月14日(金) 1月13日(金)	◆ボディケア (年4回) 大人 3人、 幼児 5人 大人 5人、 幼児 6人 大人 3人、 幼児 3人 大人 4人、 幼児 5人	
	令和4年度 参加者合計 33人 令和3年度 参加者合計 52人	
	講師： 竹下 貴美 氏	
6月20日(月) 9月12日(月) 12月 5日(月) 3月 6日(月)	◆バランスボール教室 (年2回) 大人 4人、 幼児 5人 大人 5人、 幼児 6人 大人 5人、 幼児 5人 大人 5人、 幼児 5人	
	令和4年度 参加者 合計40人 令和3年度 参加者 合計40人	
	講師： 山下 いずみ 氏	

毎月第3金曜日 (年12回)	◆1歳の誕生会 参加者数：大人 48人、幼児 55人、
	令和4年度参加者 対象者 99組中 参加者32組 カードのみ3組
	令和3年度参加者 対象者101組中 参加者31組 カードのみ3組
毎週火曜日	◆ごきげんタイム 内容：今月のうた・手遊び・ふれあい遊びうた・折り紙 ・シール遊び・お話会・製作 等
	令和4年度参加者合計 大人 135人 幼児176人
	令和3年度参加者合計 大人 189人 幼児193人
毎月第1水曜日	◆レッツプレイ・イングリッシュ 講師 カレン 氏 参加者 大人33人 幼児39人
	令和3年度参加者 大人47人 幼児58人
5月26日(木) ～28日(土) 11月10日(木) ～12日(土)	◆おゆずり会 ・密を避けて、期間を3日間にして場所を2階会議室で行う。
	5月 参加者 大人44人 幼児34人
	11月 参加者 大人85人 幼児66人
	令和4年度参加者合計 229人
	令和3年度参加者合計 111人(1回は中止)
毎月第4水曜日	◆地域支援活動 町保健センターで行われる乳幼児健診支援「2か月広場」に出向いて、子育て支援センターの周知活動を行う。

(2) ファミリーサポート事業

幼児・児童を子育て中の保護者が「安心して楽しく子育てできるように」に援助を受ける方と、援助を行う方との会員登録制度による相互援助活動により、家庭的保育の支援を行う体制をとりました。

(3) 児童館事業

児童に健全な遊びの場を与え、いつでも気軽に利用できる環境づくりに努め、健康の増進や情操を豊かにするような事業を計画し、児童館の周知や各機関との連携を図りながら少年期の子育て支援を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、手指の消毒・検温・各テーブルに飛沫防止用のアクリル板を設置し、利用者の使用後は次亜塩素酸での拭き取り消毒を行いました。

期日	行事内容及び参加者数
5月 3日(月) 5月 4日(火)	◆児童館まつり 参加者(児童、幼児、大人) 合計約230人 ・製作「ふわわロケット」「ペーパー水族館・ペーパー金魚鉢」 ・くじ引き

6月18日(土)	◆児童館クラブ(会員 20人) ・交流会	参加者19人
7月16日(土)	・陶芸絵付け教室 講師 山下 いずみ 氏	参加者18人
8月 6日(土)	・環境教室、UVストラップ作り 講師 県環境センター 出前講座	参加者17人
9月10日(土)	・小枝でアート 講師 県環境センター 出前講座	参加者18人
10月15日(土)	・防災教室、パッククッキング教室 講師 前田 美和子 氏 すこやか館管理栄養士、食生活改善推進員	参加者15人
11月19日(土)	・ヨガ教室 講師 迫田 愛子 氏	参加者11人
12月 7日(水)	・クリスマス会	参加者11人
1月21日(土)	・ダンス教室 講師 トウレ 絵理 氏	参加者15人
2月18日(土)	・石けん作り 講師 原田 加代子氏	参加者19人
3月11日(土)	・お別れ会	参加者18人
令和3度は、会員の募集は行わず単発で募集 (2回実施1回中止) 参加者合計45人		
8月18日(木)	◆レッツプレイ(会員 15人) 場所 ふれあいセンター2階 会議室 ・運動タイム 講師 新納 真史 氏	参加者10人
10月 8日(土)	・バランスボール教室 講師 山下 いずみ 氏	参加者13人
1月14日(土)	・レクリエーション 講師 豊野少年自然の家 出前講座	参加者 9人
2月 4日(土)	・キッズヨガ 講師 藤本 喜美 氏	参加者 3人
令和3年度 2回実施(2回中止) 参加者 合計24人		
7月23日(土)	◆カルチャー教室 ・パステルアート教室 講師 田成 香代 氏	参加者16人
8月22日(月)	・クッキング教室 講師 西川 加織 氏	参加者12人
11月12日(土)	・香育「芳香剤を作ろう」	参加者 9人
令和3年度 1回実施(1回中止) 参加者14人		
1月 6日(金)	◆新春書初め大会 講師:竹本 みどり 氏	参加者24人
令和3年度 参加者 24人		
夏休み期間中 8月 9日(火)	◆出前講座(長洲町内小学校学童) ・夏休み期間中 六栄・腹赤・長洲・清里小学校の学童へ出	

8月10日(水) 令和4年度中止 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響のため	向いて製作の指導を行う 内 容 ふわふわスライム作り 参加者 学童児童93人
	令和3年度年 参加者合計76人
	◆人形劇鑑賞会（世代間交流事業） ◆コンサート（世代間交流事業）※世代間交流事業であるが、新型コロナウイルス感染症の現状を考え子育て支援センター（にここサロン）のみで募集する。

Ⅲ 地域包括支援課

1 介護予防ケアマネジメント業務

(1) 地域住民の健康寿命延命を目的として、フレイル予防への意識づけができるよう周知や講話を行いました。(26箇所 235人)

(※フレイルとは、加齢により心身が老い衰えた状態のこと) (単位：人)

期 日	実施場所	人数	期 日	実施場所	人数
5月19日(木)	下東区	18	11月16日(水)	永方区	10
7月11日(月)	赤崎区	8	11月18日(金)	出町区	8
8月18日(木)	清源寺区	10	11月29日(火)	建浜区	11
8月22日(月)	平原区	15	12月14日(水)	高田区	2
8月23日(火)	町民研修センター	9	12月16日(金)	上沖洲区	9
8月23日(火)	中央公民館	10	1月17日(火)	宮崎区	11
8月24日(水)	東荒神区	9	2月28日(火)	駅通区	8
8月26日(金)	磯町区	7	3月8日(水)	塩屋区	5
8月29日(月)	古城区	11	3月17日(金)	大明神区	5
9月9日(金)	鷺巣区	13	3月20日(月)	宮の町区	5
9月12日(月)	立野区	12	3月22日(水)	宝町区	4
11月14日(月)	松原区	15	3月24日(金)	上町区	10
11月16日(水)	腹赤新町区	7	3月27日(月)	腹赤区	3

※R3年度講話：26箇所 276人

(2) 国保医療係との連携により、後期高齢者医療保険切替えの216人の方々に対して窓口で基本チェックリストの聞き取りを行い、げんきの館や元気あっぷ教室等予防事業の紹介を行いました。また、継続支援の必要な対象者に対しては、電話連絡や自宅訪問等の個別対応を行いました。

(3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の対象者（健康不明者やフレイル該当者等）となった方16人に対して自宅訪問や関係者間で情報共有を行い、介護予防啓発を行いました。

2 総合相談支援業務

(1) 相談実績報告（相談回数） (単位：回)

相談関係	R4年度	R3年度	相談関係	R4年度	R3年度
本人	1,421	1,389	区長	77	45
家族	967	1,165	近隣	40	67
関係機関(行政・社協)	256	541	医療機関	134	503
ケアマネ・介護サービス事業	333	581	その他	336	93
民生委員・児童委員	118	207	合 計	3,682	4,591

(2) 相談対象者との関係 (相談回数) (単位：回)

相談方法	R4年度	R3年度	相談方法	R4年度	R3年度
来所	954	1,132	メール	0	2
電話	1,772	1,969	その他	46	74
訪問	754	899	合計	3,682	4,591
情報提供	206	515			

(3) 相談内容 (相談回数) (単位：回)

相談内容	R4年度	R3年度
介護に関する事	717	887
介護保険に関する事	906	1,110
地域支援事業に関する事	448	462
健康管理や医療保険に関する事	998	1,190
福祉サービスに関する事	60	104
日常生活に関する事	407	366
高齢者虐待に関する事	57	288
権利擁護・成年後見に関する事	66	154
消費者被害に関する事	10	22
長洲町見守りネットワークに関する事	13	8
合計	3,682	4,591

3 権利擁護業務

(1) 相談対応 (単位：回)

相談内容	高齢者虐待	権利擁護・成年後見	消費者被害
相談回数	57	66	10
R3年度	288	154	22

高齢者虐待に関しては、本人及び関係者への聞き取りによる事実確認及び緊急性を判断する会議を実施して対応方針を決め、対応した事案が4件ありました。

(2) 研修会の開催

	日付	研修会テーマ	参加者数
1	4月28日 (木)	「高齢者虐待の理解」 ～“気づいて・繋いで・支える”を目指して～ 講師：一般社団法人 熊本県社会福祉福祉士会 社会福祉士 窪田 寛史 氏	41名
2	10月28日 (金)	「高齢者虐待の理解」 ～通報後の動きを学ぶ～ 講師：一般社団法人 熊本県社会福祉福祉士会 社会福祉士 福原 紗代子 氏	33名

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で暮し続けることができるよう、以下の支援を行ないました。

(1) ケアマネジャーの技術向上のため日常的個別支援

(2) 支援困難事例等への指導・助言など

受付件数：85回

支援内容			(単位：回)		
支援内容	延べ回数	前年度	支援内容	延べ回数	前年度
ケアマネジメント支援	64	115	包括内連携	43	53
主治医連携	3	19	社会資源の紹介	20	16
制度説明・確認	13	21	対人援助技術	11	5
個人の悩み事相談	5	3	研修・学習	1	0
その他	9	33	同行訪問	10	13

(3) 介護支援専門員連絡会

ア 日時：令和5年3月10日（金）午後3時00分から4時00分まで

イ 内容：(ア) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について
町福祉保健介護課 国保医療係 上野保健師

(イ) 令和5年度地域ケア会議について

(ウ) 地域ケア会議後の専門職が訪問できる体制について

(エ) 介護保険係より：福祉用具レンタルについて他

ウ 参加：町内居宅支援事業所管理者 計6名+包括・介護保険係・地域支援係

5 認知症総合支援事業

(1) 認知症サポーター養成講座開催

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指すため、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらう認知症サポーターの養成を実施しました。

また、認知症サポーター養成講座に伴うキャラバンメイト意見交換会を9月に初めてオンラインで開催しました。

(単位：人)

	期 日	対象者	参加人数
1	5月25日（水）	元気あっぷリーダー11期生	8
2	6月26日（日）	古城区住民	19
3	10月27日（木）	長洲中学校	58
4	10月30日（日）	上沖洲区住民	35
5	11月 8日（火）	元気あっぷリーダー12期生	6
6	12月15日（木）	ニチイケアセンター	10
7	12月16日（金）	まごころデイサービス	19
8	12月22日（木）	清里小学校	20
9	2月19日（日）	腹赤区住民	31
		合 計	206
R3年度実績		養成回数10回 養成数264人	

(2) 認知症サポーターステップアップ講座

認知症サポーター修了者で意欲的な方へ実施し、チームオレンジ（アクティブチーム）の3期生を養成し、認知症カフェや認知症の人に対する声掛け・対応模擬訓練にボランティア支援としてマッチングを行いました。

・開催日 10月28日（金）

・講師 小川 知成 氏（認知症介護指導者）

・参加者 9人（前年度8人）

(3) 認知症カフェの開催の支援

町内4事業所（月華苑、心の花、せいわながすの里、げんきの館）で開催されている認知症カフェと、チームオレンジとの情報交換会として2月に開催しました。

(4) 認知症の人に対する声かけ・対応模擬訓練の開催

認知症の人への接し方や対応を学び、行方不明者発生時を想定した対応・通報の訓練も合わせて実施することで、認知症の人やその家族を地域で見守り、支援の輪を広げることができました。(単位：人)

期 日	内 容	人数
6月26日(日)	認知症の人に対する声かけ・対応模擬訓練 in 古城	34
10月30日(日)	認知症の人に対する声かけ・対応模擬訓練 in 上沖洲	56
2月19日(日)	認知症の人に対する声かけ・対応模擬訓練 in 腹赤	44

※前年度訓練箇所：2箇所 参加者数：66人

(5) チームオレンジ(アクティブチーム)活動実績

(単位：人)

期 日	活動先	ボランティア内容	人数
6月26日(日)	認知症の方に対する声掛け・対応模擬訓練 in 古城	受付、寸劇、参加等	3
7月21日(木)	にじいろカフェ	受付、参加	1
9月15日(木)	にじいろカフェ	受付、参加	1
10月30日(日)	認知症の方に対する声掛け・対応模擬訓練 in 上沖洲	受付、参加	5
11月17日(木)	にじいろカフェ	受付、参加	1
1月19日(木)	にじいろカフェ	受付、参加	3
2月19日(日)	認知症の方に対する声掛け・対応模擬訓練 in 腹赤	受付、寸劇、参加等	4
合計			18

(6) 認知症初期集中支援チーム

認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供の早期診断・早期対応を目的とした支援をしました。また、チーム員会議として、月1回、町と包括、チーム員で情報共有や支援方針の確認などを行いました。会議の内容や支援に関する相談などに関しては、認知症サポート医(淡河・黒田医院 黒田医師)とも連携をしました。

	新規相談数	訪問・対応回数
R4年度	7件	85回
R3年度	1件	34回

(7) 認知症家族の会「つどい」への参加

認知症の人とその家族の会主催の「つどい」長洲エリア開催時(6月・10月・2月)に参加し、介護者家族やその支援者との情報共有や、包括として介護に関する情報提供などを行いました。また、9月に「認知症啓発キャンペーン2022 in くまもと 街頭活動」に参加し、荒尾シティモールにて認知症家族の会と認知症地域支援推進員と共に認知症啓発に取り組みました。

(8) 「認知症安心ガイド」の啓発

「認知症安心ガイド」は、認知症の状態に応じて、どんなサービスや医療につながればよいかを、標準的な視点で示しています。民生委員や区長、商店、医療機関、金融機関など関係機関に配布し、活用をいただいています。

(9) キャラバンメイト養成講座支援

玉名市、玉東町、南関町、和水町、長洲町の地域包括支援センターで協働し、11月20日(日)及び11月26日(土)にキャラバンメイト養成講座を協働開催し、キャラバンメイト4人の養成支援を行いました。

6 地域ケア会議の開催

(1) 自立支援型地域ケア会議の開催(定例開催)

町内の全ての介護支援専門員に毎回事例を提供いただき、事例の課題に対して、専門職からの助言を受け、利用者の自立支援につながるケアプランやサービス事業所のプログラム提供を目指しました。

- ・開催日：毎月第3(水)
- ・開催数：年間11回開催(1月は事例提出者がおらず、中止)
- ・事例数：20事例
- ・助言者：理学療法士、薬剤師、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、社協、生活支援コーディネーター、町地域支援係

(2) 個別課題の地域ケア会議

困難事例等、個別の課題に対し、関係者や専門職、行政と共に課題解決に向けた会議を開催し、情報共有やネットワーク化を目指しました。

- ・開催日：困難事例発生時に随時開催
- ・開催数：2回
- ・事例数：2事例

(3) 住宅改修等点検事業

要支援認定の方の住宅改修に関して立案したケアマネジャーに対し、リハビリの専門職より事前点検を実施。検討すべき視点や、疾患の将来予測等を基に助言をいただき、要支援認定者の適切な生活環境の支援と活動性向上・悪化予防に努めました。

検討事例数：24事例

(4) 研修会の開催

- ・開始日：令和5年3月10日(金)午後4時00分から5時00分まで
- ・会場：ZOOM開催
- ・内容：「長洲町ケアマネジメント研修会」～住宅改修の考え方～
- ・講師：株式会社ともいきLabo 理学療法士 北尾 昌平氏
- ・参加数：町内介護支援専門員 16名

7 長洲町介護サービス事業者連絡協議会の事務局

(1) 研修会等

日付	内容
6月23日(木)	意見交換会(総会后) 「介護サービス事業所における新型コロナウイルス感染症対策・対応について」 ～職員が感染した場合、利用者さんが感染した場合、事業所としてどのような対応をしたか、事例を共有して考える～
11月25日(金)	「動き出しはご本人から」～導入編～ 参加者：58名

(2) 役員会

日付	内容
6月8日(水)	第1回役員会 ZOOM 会議 (総会について 他)
6月23日(木)	令和4年度長洲町介護サービス事業者連絡協議会総会 ZOOMにて開催
3月23日(木)	令和5年度事業計画策定に向けた意見交換会 (役員、委員会代表、事務局、行政) ZOOM 会議

8 指定介護予防事業

介護保険認定の要支援1・2を受けた高齢者に対して、循環型の介護予防に取り組むことができるよう自立支援型の介護予防サービス計画書の作成を行いました。

(1) ケアプラン作成件数 (単位: 件)

年度	包括	委託	合計
R4年度	950	184	1,134
R3年度	943	221	1,164
増減	+7	-37	-30

(2) 委託先の居宅介護支援事業所

町内4事業所・町外4事業所 計8事業所

9 介護予防ケアマネジメント事業

介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービス利用者へ目標志向型のケアプラン作成を行いました。

(ケアプラン作成件数) (単位: 件)

年度	包括	委託	合計
R4年度	1,264	86	1,350
R3年度	1,112	81	1,193
増減	+152	+5	+157

10 生活支援体制整備事業

(1) 介護予防リーダー養成事業

ア 元気あっぷリーダー養成講座

講師: 株式会社ともいき Labo 代表取締役 北尾 昌平 氏 (理学療法士)

(ア) 11期生養成講座 参加人数 8人

会場: 長洲町地域福祉センター 2階 研修室

養成講座: 4月6日(水)から6月1日(水)全8回

準備講座: 6月2日(木)から6月24日(金)までの希望日全2回

(イ) 12期生養成講座 参加人数 6人

会場: 長洲町地域福祉センター 2階 研修室

養成講座: 9月27日(火)から11月15日(火)全8回

準備講座: 11月22日(火)から12月2日(金)までの希望日全2回

※令和3年度養成人数 9期生: 6人 10期生: 9人

イ 元気あっぷリーダーのフォローアップ研修

(単位: 人)

区分	期日	内容	参加者数/対象者数
第1回	5月12日(木)	「体操の基本的動作の確認」 (体操後半部分の注意点)	37/80
第2回	7月21日(木)	体力測定方法の解釈 関節疾患モデルの講義	51/88

第3回	9月15日(木)	意見交換会 感染対策について 活動費の活用について	46/88
第4回	11月17日(木)	通いの場におけるリスク管理について 安心・安全に体操を行うために(血压編)	38/94
第5回	3月9日(木)	元気あっぷ体操 「パワーあっぷバージョンの習得」	53/94

ウ 元気あっぷ体操教室開催会場、回数及び参加者延べ人数・リーダー活動状況

(ア) 元気あっぷ体操教室開催会場：合計25会場(内、塩屋区が休止中)

校 区	会 場
長 洲	あおぞら荘(東荒神区)、磯の館、新山区集会所、長洲町中央公民館、 町民研修センター、出町区集会所、はっとり荘(下東区)、ふれあい松原 有明先成荘(下本区)、きずなの家(大明神区)
清 里	駅通り区生涯学習センター、建浜区公民館
腹 赤	上沖洲区公民館、清源寺区公民館、腹赤区公民館、腹赤新町区学習センター 平原区学習センター
六 栄	赤崎区公民館、古城区学習センター、塩屋区公民館(令和3年9月から休止中) 高田区公民館、永方公民館、宮崎区ふれあい公民館、鷺巣公民館、赤田区公民館

※新規立上げ会場：きずなの家(大明神区)(令和5年3月7日から)

赤田区公民館(令和5年4月14日から)

(イ) 開催回数及び参加者延べ人数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催回数	71	71	72	60	53	63	75	80	68	62	76	81
参加人数	565	594	572	458	347	489	607	636	552	503	616	654
年間合計	開催回数 832回		参加人数 6,593人									
令和3年度	開催回数 533回		参加人数 4,055人									

(ウ) 元気あっぷリーダー登録者数 94人 元気あっぷリーダー活動者数 87人

エ 脳力あっぷリーダー養成講座

講師：株式会社ともいきLabo 代表取締役 北尾 昌平 氏(理学療法士)

会場：長洲町高齢者支援施設 げんきの館

(ア) 3期生養成講座 参加人数 11人

養成講座：6月9日(木)から7月7日(木)全5回

オ 脳力あっぷリーダーフォローアップ研修

(単位：人)

区分	期 日	内 容	参加者数/対象者数
第1回	5月26日(木)	「脳力あっぷプログラム」の振り返り学習	15/22
第2回	3月23日(木)	「脳力あっぷプログラム」の振り返り学習 (認知サポートのおさらい)	21/33

(2) 協議体の開催

地域ケア会議等において抽出された地域課題を解決する場として、町第一層協議体を開催し、地域課題の解決に向けて取り組みました。

ア 町第一層協議体の開催(定例開催)

・参加者：行政、社協、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター

・開催日：毎月第3(水)

・開催数：年間 12 回開催

イ 社会資源ガイドの作成

社会資源の把握を行い、必要な時にすぐに紹介できる体制づくりを行うため、長洲町の社会資源をまとめた「社会資源ガイド」を作成しました。

作成した社会資源ガイドは、各行政区の区長をはじめ、民生委員・児童委員や老人クラブ連合会のほか、居宅介護支援事業所のケアマネジャーに配布しました。

ウ 各専門職が自宅訪問できる仕組みづくり

地域包括支援センターが実施している地域ケア会議において、理学療法士や薬剤師等の専門職から、より対象者に合わせた助言を行い、自立支援を促す方法として、各専門職が自宅訪問できる方法の検討を行いました。

まず、介護支援専門員へのアンケートを実施し、専門職による自宅訪問のニーズ把握を行いました。その後、第2層協議体として各専門職とアンケート結果を基に協議を行い、その結果、令和5年度から、地域ケア会議後、必要に応じて各専門職が自宅訪問を行える体制を整えることができました。

エ コロナ禍での買い物支援の仕組みづくり

新型コロナ感染療養者への買い物支援として、ユーマートトクナガに協力を依頼し、移動スーパー「とくし丸」との連携により、新型コロナに感染し自宅療養中で買い物に行くことが難しい方に自宅へ商品を配達する仕組みづくりを行いました。

また、周知チラシを作成し、町内の居宅介護支援事業所へ情報を共有しました。

オ 長洲町元気あっぷ体操ビデオの短縮版の作成及び ICT を活用しての周知

令和3年度にYouTubeにて公開した元気あっぷリーダーによる長洲町元気あっぷ体操プログラムビデオを、より気軽かつ効果的に実践できるよう「転倒」、「腰の痛み」、「肩の痛み」、「膝の痛み」の予防・改善部位毎に分けた短縮版を作成し、長洲町役場のYouTubeチャンネルに掲載しました。

また、各介護予防拠点施設での ICT 機器の活用による視聴と元気あっぷ体操実施を促すため、9月1日付で全行政区へ回覧板による周知を行いました。

11 一般高齢者予防事業

(1) 一般高齢者への介護予防教室の開催

年 度	開催延べ回数	参加者延べ人数
令和4年度	273 回	2,381 人
令和3年度	190 回	1,458 人

*新規教室：素敵な姿勢のつくり方教室

(2) 認知症カフェ「にじいろカフェ」の開催（奇数月第3木曜日）

認知症サポーター（チームオレンジ）及びボランティアの協力の下、認知症の方やそのご家族、地域住民などが集まり、介護の悩みや役立つ情報交換ができる場として認知症カフェ「にじいろカフェ」を開催しました。

ア 参加者数：128 人 ボランティア数：12 人 合計 140 人

イ 開催内容

(単位:人)

期 日	内 容	参加者	ボランティア
5月19日(木)	「口腔ケアと認知症予防」 吹き戻しを使って呼吸力の訓練 講師：保健センター 廣岡奈々 氏	16	1
7月21日(木)	「認知症の家族を介護した経験談」 講師：認知症と家族の会 世話人 迦統美陽子 氏 福本親康 氏	9	2

9月15日(木)	「人生二幕目が面白い/80歳の壁」講話 講師：一般社団法人 中高年齢者雇用福祉協会九州事務所長 清瀬一郎氏	33	2
11月17日(木)	「なつかしの歌のギター演奏と歌」 講師：歌のボランティア アッシー氏	24	2
1月19日(木)	「認知症予防プログラムを体験しよう」 講師：長洲町社会福祉協議会 通所型サービスA事業所 ブレインマネジャー 野村大輔主事	28	4
3月16日(木)	「くす玉づくりに挑戦」 講師：一般介護予防教室「紙あそび教室」尾上恵子氏、熊谷三枝子氏 村里志津子氏	18	1

(3) 脳力あっぷ教室の開催

様々な脳トレーニングを継続して行う脳力あっぷ教室を開催しました。講師、脳力あっぷリーダーが参加者を支援しながら、認知症予防プログラムに取り組みました。

ア 参加者数：10人 延べ人数：196人

イ 開催期間：令和4年7月28日(木)～令和5年2月16日(木)計24回開催

(4) ICT活用によるライブ配信及びオンデマンド配信

ア ライブ配信

専門職による一般介護予防教室を複数の介護予防拠点施設にてライブ配信し、介護予防につながる専門的な知識を学べる機会を作り、介護予防活動の周知及び啓発を図りました。

延べ参加者数：230人

(ア) 膝と腰のげんき教室オンライン講座

講師：株式会社ともいきLabo 代表取締役 北尾 昌平氏 (理学療法士)

(単位：人)

期 日	内 容	参加者数					合 計
		古城	平原	駅通	新山	下東	
10月24日 (月)	膝関節痛の予防 改善とストレッチ	17	21	8	12	12	70
10月31日 (月)	腰・股関節痛の予防 改善とストレッチ	16	15	6	7	14	58
11月21日 (月)	生活動作における 関節痛予防のポイント	16	16	5	7	5	49
合計		49	52	19	26	31	177

(イ) シニアのためのダイエット教室オンライン講座

講師：平山整形外科医院 ダイエットサポーター 尾川 隆氏

(単位：人)

期 日	内 容	参加者数					合 計
		古城	上沖洲	駅通	新山	下東 清源寺	

11月30日 (水)	超カンタン！ 無理せず痩せる ダイエット講座	6	18	11	4	6	8	53
---------------	------------------------------	---	----	----	---	---	---	----

イ オンデマンド配信

シニアのためのヨガ教室をオンデマンド配信用に内容を変更し、ビデオを撮影して編集し、長洲町のYouTubeチャンネルに掲載しました。

出演：シニアのためのヨガ教室 講師 藤本 喜美氏

12 通所型サービスA事業

介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスA事業を実施しました。

(1) 通所型サービスA（対象者：要支援1・2及び基本チェックリスト該当者）

ア 運動機能向上プログラム

(ア) 元気あっぷ体操

地域の公民館活動との継続や連携を図るために実施しました。

(イ) 体力測定

定期的な運動機能評価を実施し、評価・結果の分析を行い、個別プログラムの検討・実施につなぎました。

(ウ) YouTube 動画の活用

利用中の活動量増加、空き時間の減少を目的に、座ったままでできるストレッチや、ヨガの動画を活用し実施しました。

(エ) 体操資料の掲示・配布

在宅での運動の習慣化・継続・セルフケアの確立を目標に資料を配布し、定期的に活動の状況の確認を行いました。

(オ) 転倒予防講話・下肢筋力向上プログラム

転倒の原因・リスク管理について講話を行い、転倒予防のための下肢筋力向上プログラムを実施しました。

イ 健康教室

(ア) 町保健センターとの連携

通所の看護職員が管理栄養士・歯科衛生士から口腔指導・栄養改善について学び、利用者向けの講話を実施しました。

(イ) 看護職員が中心となり、高血圧・熱中症・新型コロナ感染予防などについての講話を利用者へ行いました。

ウ 認知症予防プログラムの実施

(ア) 認知症予防活動として、日々のプログラムに脳トレプリントやウォーキング、カードゲーム、パズル等を取り入れ、定期的に認知機能の評価を実施しました。

(イ) 職員が認知症予防の資格(ブレインマネジャー)を取得し、新たなプログラムの導入と、認知症予防の講話を利用者へ行いました。

エ 個別プログラムの実施

(ア) 一般高齢者事業（介護予防教室）への参加：趣味活動の活性化や交流

(イ) 利用者の趣味・特技を活かせる場

（菜園での野菜・花の育成・グラウンドゴルフ）

(ウ) リハビリ職の支援による、個別リハビリの実施：膝痛や腰痛への運動指導

- (エ) 認知面での不安がある方への、認知症予防プログラム・宿題提供
- (オ) 体力・歩行能力の向上を目的とした、ポールウォーキング
- オ セルフケア確認による健康意識の向上プログラムの実施
- 月間カレンダー(げんきカレンダー)での健康生活・運動の習慣化を支援しました。
- カ 年間利用状況

(単位：人)

区分	開所 日数	実利用者	(内 訳)		新規者	延利用 者	一日 平均
			要支援 1・2 認定者	基本 ^{チェック} リスト 該当者			
4月	21日	67	30	37	2	275	13.1
5月	22日	69	29	40	2	289	13.1
6月	22日	74	28	46	9	285	13.0
7月	20日	80	30	50	5	308	15.4
8月	23日	79	28	51	0	315	13.7
9月	20日	86	28	58	6	327	16.4
10月	21日	86	28	58	3	327	15.6
11月	22日	85	30	55	3	331	15.0
12月	20日	78	26	52	1	287	14.4
1月	20日	80	30	50	17	290	14.5
2月	20日	86	32	54	8	313	15.7
3月	23日	86	30	56	3	349	15.2
年間	254日				59	3,696	14.5
R3年度	223日				20	2,814	12.6

- ・年間利用実人数：145人
- ・年間新規契約者：59人
- ・利用者の変動：修了2人 介護認定24人
 入院(延べ)15人 自宅療養3人 死亡1人 その他1人

(2) プラスあっぷ教室の実施

フレイル状態にある高齢者に対し、早期に専門職が関わりながら予防プログラムを提供できる教室を実施しました。

- ア 対象：65歳以上の事業対象者又は要支援1・2認定者
- イ 期間：毎週(火)午後1時30分から3時30分で6か月間
- ウ 定員：18人
- エ 専門職：理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、看護職、健康運動指導士
- オ 内容：(ア) 評価(新規・修了前)：運動器測定、栄養評価(栄養バランス、体組成計)、口腔評価(嚥下、舌の動き)
 - (イ) 集団体操：元気あっぷ体操
 - (ウ) 個別プログラム：筋力アップ、バランスアップ、栄養指導、口腔体操
 - (エ) 健康の自己管理の促し：日々の健康チェックや活動の習慣化を支援

- (オ) 修了後の支援：地域活動や一般介護予防教室への案内と参加のつなぎ
- カ 評価会議：(ア) 評価会議参加者：理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、通所職員、生活支援コーディネーター、担当ケアマネジャー
- (イ) ファシリテーター：包括（司会と記録2名）
- (ウ) 開催時期（1利用者に対し、2回開催）
- ・新規利用時：目標の共有、評価結果の共有、提供するプログラムの共有等
 - ・修了前：プログラム提供後の評価、修了後のつなぎ先の確認とつなぎ方への助言等
- (エ) 評価内容：体力測定・長谷川式認知症簡易スケール・体組成・栄養評価・口腔評価・健康チェック数値と元気カレンダー活用状況等
- キ プラスあっぷ教室利用状況 (単位：人)

月	開所 日数	実利用者	(内 訳)		新規者	延利用 者	一日 平均
			要支援 1・2 認定 者	基本 チェックリスト 該当者			
4月	4日	22	0	23	4	74	18.5
5月	5日	16	0	18	2	60	12.0
6月	4日	17	1	20	4	60	15.0
7月	3日	19	1	18	4	50	16.7
8月	5日	20	1	19	4	79	15.8
9月	3日	18	1	19	4	50	16.7
10月	4日	23	2	22	4	75	18.8
11月	5日	22	2	20	3	94	18.8
12月	4日	21	3	18	3	65	16.3
1月	4日	18	3	17	3	65	16.3
2月	4日	19	3	16	3	74	18.5
3月	4日	16	2	15	3	51	12.8
年間	49日				41	797	16.2
R3年度	45日				36	665	14.7

- ・年間利用実人数：59人
- ・令和4年度修了者：38人
 - 中止者：7人（入院1名・地域活動5名・介護申請1名）
- ・修了時の状態：修了者38名中
 - ・改善8人（当初目標を上回る状態改善）
 - ・維持30人（当初目標を達成できた）